

登録コード	BSD92574		開講年度	2026			
授業題目	生体医工学特別実験（22BS以降）					担当教員	中楯 浩康
英文授業名	Advanced Experiments in Biomedical Engineering					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力				生体医工学に関連する工学の技術だけではなく、分子生物学的手法についても修得し、実験に応用することで、これまでの課題を克服し、研究を通して新しい知見を世界に発表できるようになる。		
(2)授業の概要	担当教員の専門分野に関して基本的な実験手法の解説を行い、実験実習を通じて実際の手法を修得する。						
(3)授業計画	本実験は、各学生の修士論文のテーマに合わせて、個別に実施するため、その内容および日程はは担当教員と相談の上決定する。						
(4)成績評価の方法	実験実習への取り組み態度、レポートやプレゼンテーションの内容を総合的に判断して評価する。						
(5)成績評価の基準	研究に必要な計測機器や実験装置を適切に扱えるようになることを「合格水準（可）」とする。 加えて、実験目的に適した実験計画を自ら立てられるようになることを「合格水準のやや上にある（良）」とする。 加えて、実験目的に適したデータのまとめ方や類似研究との比較・考察ができるようになることを「合格水準のかなり上にある（優）」とする。 加えて、より高度な実験手法により、自身の研究を進展させられるようになることを「合格水準を卓越している（秀）」とする。						
(6)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，30時間以上の自主学習が必要となります。 ・事前に実験手技について専門書を熟読する。 ・事前に実験機器について取扱説明書を熟読する。 ・事後に実験手技について整理し手順や注意事項についてまとめる。 ・事後に実験手順を復習し、一人で実験を実施してみる。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと。						
(9)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	適宜、紹介する。						